



あれから45年、遊歩道の 桜が若かった頃

とき 2015年4月25日

ところ 味の民芸隠れ部屋

- 出席者 井上千代子、北村昌子、木上若江、津久井淑子
辻哲朗、鷺嶺昭子、山本純子
- 司 会 池田正二

司会 今年の前沢四丁目自治会が設立されて45年となりました。当時、前沢四丁目は日本住宅公団によって区画整理され、公団が分譲した土地と公団が買収しなかった私有地がありましたね。公団の分譲地は10年間の売買制限がありました。さて、当時の状況は。

木上 すごい雑木林で、田舎よりも恐ろしい、こんな所に住めるかと思いました。

■ ウド畑と雑木林の分譲地 ■

井上 横浜からやってきました。最初なんにもないところでね。こんなところ来てお使いどうするの、食事作る私の身にもなってよ、いやだいやだと思った。父はこの土地が当たった、宝くじに当たったようなものだと言っていたけど。

津久井 46年に来ました。義父が関東大震災に遭ったから、ここは地盤が固いので選んだと言っていました。ベビーブームの頃で子どもは毎日つばき公園で遊んでいました。子育てにはよかったですね。その頃幼稚園だった子が地元で働いてくれていると嬉しいですね。



あれも思い出、これも思い出。「味の民芸」で

鷺嶺 昭和47年に会社の借り上げ社宅で来ました。こんな環境のいいところで子育てができるのかと思って嬉しかった。瀟洒な家、モダンな家が多くて。前はウド畑、その後にキャベツ畑や大根畑になり、今は住宅地になっています。

当時、障害者の施設「のぞみの家」がありましたが、「のぞみの家」をなんとか支援しようと思いました。大道幼稚園設立の署名もしました。小さな子供をもっているお母さん方、ずいぶん運動しましたね。55年に大道幼稚園、せっかくできてうちの隣なのに抽選で落ちて弥生台幼稚園に行くことになって。

地下鉄が来るという話もありましたけど。

<くめも> 「のぞみの家」

障害者の福祉施設。昭和47年11月から58年3月まで、旧消防署の裏にあった旧日本住宅公団の事務所を市から貸与してもらい使用していた。54年、未就学児はわかさ学園に。自治会や前沢ときわ会は寄付や物資斡旋、バザーなどで支援、また契約を結び集会所を使用させてもらっていた。58年、生活訓練所を下里2丁目に新築し移転した。

<くめも> 「日本住宅公団久留米宅地開発事務所」

滝山団地を建設するための事務所が昭和30年代後半に現在の前沢4丁目6番地に作られた。団地建設終了に伴い当時の久留米町に移管、町は昭和45年(1970年)2月、ここに教育委員会事務所を開設したが、同年10月の市政施行に伴い、教育委員会は本庁に引っ越した。2年間空家となっていたが、整備のうえ「のぞみの家」に貸与した経過がある。58年、解体・撤去された。

司会 丸の内線を新青梅街道まで延長しようということで大きな立看板が立っていました。結局、運動だけでしたね。

山本 私は49年に来ました。第2次ベビーブームの頃で子供がたくさんいて家族同士の交流もあり、お誕生会で呼んだり呼ばれたり、良い思い出になっています。雑木林や原っぱがあって、ああここに越して来てよかったなと思いました。

■ 買い物は滝山商店街、花小金井まで ■

北村 私は昭和45年に家族4人で引っ越してきました。念願の家を建てたということで嬉しくて。主人が45歳、子供が中2と小5でした。文京区からでしたが、転校がいやだというのでここから文京区の学校に。朝6時

15分のバスに乗せました。私は5時前から起きて弁当作ったりして。買い物が大変だった。商店は団地前だけ。自転車に乗れなかったので1日に1回、2回、走ったことも。

木上 今のまえさわ小町商店街ができたのはずっと後、花小金井まで買い物に行ったこともありました。

辻 バス停前の今の駐車場のところは原っぱ。バッタ獲りをやった。ここも、たしかキャベツ畑だった頃がありましたね。

津久井 遊歩道の落葉を集めて焼き芋をやりました。当時は落葉焚きよかったですね。そのうち苦情がでたり、ダイオキシン問題があつたりしてできなくなりました。

■ 今は昔のバス事情 ■

辻 滝山団地入口のバス停は団地の方で満員になり素通り、乗れなかった。小金井街道はどろ道、ダンプカーが行きかっていた。

北村 前沢住宅バス停のところは雑木林。危ないので子供には駅から電話させてバス停まで迎えに行った。

木上 小金井街道も狭くて。花小金井の総合庁舎のところからずっと渋滞、バスが動かない。花小金井の駅まで30分かかり、歩いた方が早かった。

■ 1学年13クラスの西中 ■

司会 うちの娘が西中学校に入った頃は1学年が10クラス。うち3クラスはプレハブ校舎だった。一番多い年はMクラスまであったといいますね。九小では野球チームが2つもあった。

木上 滝山の商店街も若いお母さんたちでいっぱい。にぎやかでしたね。

＜めも＞ 「西中・九小の生徒数が最も多かった年と現在」

	年 度	生 徒 数	クラス数
西中	昭和 52 年(1977)	1,373	33
	令和元年(2019)	439	13
九小	昭和 49 年(1974)	1,087	28
	令和元年(2019)	523	18

※西中は1968年9月に久留米中学内(幸町5)で開校、同年12月に現在地に。西中開校前、当地の子は久留米中まで通っていた。

※九小は1970年4月七小から分離。七小は1968年9月に一小分校(八幡町2)で開校。それまで当地の子は一小分校に通っていた。分校は七小誕生により廃止。

■ 玄関に祭り提灯—夏祭り ■

司会 夏祭りも盛り上がりました。

木上 私たちみんなで阿波踊りをやりましたね。

司会 そう、西武の滝山営業所近くから出発、途中疲れるから人のいないところでは手抜きして、人のいるところでまた踊り出した。駐車場の広場ではやぐらを組んで朝早くからスピーカーで歌謡曲など流していた。夜は盆踊りで賑わいましたね。当時、Mさんがマイクでアナウンス。きれいな声で、四丁目の代表だった。

鷺嶺 自治会で斡旋した提灯を買って、みなさん、家の玄関のところに飾りました。

山本 商店会の斡旋だったか「おかめ、ひょっとこの柄」のゆかたを買って着ましたね。こどもたちも絆纏（はんてん）を着ました。

司会 盆踊りで炭坑節や東京音頭もやったけど東久留米音頭もやりましたね。

鷺嶺 三橋美智也の歌でしたね。

司会 盆踊りをやらなくなってからは、シダックスが広場に大型トラックを出してカラオケをやった。



ゆかたの柄



会場のやぐら。右端上に消防署が見える

<くめも> 滝山・前沢みんなの夏祭り

昭和 52 年(1977 年) 滝山団地自治会と滝山近代協(商店街連合会)の共催で第1回「滝山みんなの夏祭り」が開催される

平成 11 年(1999 年) 第 23 回から「滝山・前沢みんなの夏祭り」と名称変更

平成 22 年(2010 年) 滝山団地自治会と NP0「東久留米ふれあいの街」の共催

平成 27 年(2015 年) NP0「東久留米ふれあいの街」主催となる

昭和 53 年、滝山東商店会(現まえさわ小町商店会)と前沢 5 丁目自治会から招待を受け、前沢 4 丁目自治会は会員に参加可否のアンケートを実施。77%の賛成を得て参加を決定。以降、実行委員として参加している。

■ 火事・事件・事故 ■

司会 町内で大事件とか犯罪とかは？ ラーメン屋さんでは大事件（殺人）がありましたけど。平成20年ですね。

木上 昭和52年には私の家の近くで大きな火事がありましたね。夕方。お隣は屋根がちょっと焦げたくらいでしたが火元は丸焼け。ストーブの上で洗濯物を干していたということでした。消防は隣の雑木林に燃え移ったら大変だなど言ってましたが。けれど、消防署がすぐ近くにあるのに消防車がなかなか来なかった気がします。

鷺嶺 空巢・泥棒は多いですよ。うちは人がいるときに入られました。寝ていると隣の部屋でゴソゴソしている。何してるんですかというとなっと笑って、バッグ持って逃げた。夫は寝ていて気が付かなかった。すごい怖い思いをした。

山本 今も空巢は多い。ご近所のMさんが、荷物を車から出して家に入って、戻ったら残りの荷物を盗られてた。ほんのちょっとの間なのに。

鷺嶺 警察もこの地区は多いと言ってますね。

山本 交通事故もありましたね。バイクで亡くなった方がいました。それで今の第7分団の前の通り、道が交差する所に埋め込み式の発光器（交差点鉈）や何ヵ所かにカーブミラーを付けました。

津久井 滝山北通りと滝山公園通りの交差点でも事故が多く、自治会で要求して信号機を付けてもらいました。

■ こどもでいっぱい自治会旅行 ■

司会 自治会の年表をみると、つばき公園でのラジオ体操、スイカ割、花火大会や市民運動会への参加がありますが。

津久井 滝山公園で大きな花火打ち上げたのは覚えています。七小での市民運動会、うちの自治会からは1,500m競走に出ましたね。

辻 市川さんが出て1位になった。ただ、あとになると、だんだん役員中心の参加になってしまった。

鷺嶺 自治会の旅行、印象に残っているのは、貸切の西武の乗合バスにゴザ



大人も子供と一緒にラジオ体操

を敷いて、男の人たちがいきなり酒盛りを始める、びっくりしました。旅行じゃないのかと。ぶどう狩りに行くときですね。そのうちそういうのがなくなって、目的地に行ってからとなりました。



ぶどう狩りで大喜びの子供達

司会 昭和52年のこと
もの国、バス2台で行ったとき、子供がたくさん乗ってて、途中で「おしっこ」と。多摩川越えたなし園あたりでバス止めて……。酒盛りの記憶はないな。昭和54年に勝沼ぶどう狩りに114名も参加している。旅行はぶどう狩りに行った年が多いですね。最近は団体での旅行より、家族で車でということで参加者が少なくなってきたのでしょうか。

山本 家族でというのもいいですが、自治会の旅行でシートを敷いて親子で食べたお弁当は格別でした。

■ 消防署職員待機寮 ■

司会 前沢四丁目には公共施設ということで、消防署、くぬぎ児童館、大道幼稚園がありました。

津久井 消防署の待機寮は、よく自治会の役員会などで使わせてもらいました。2階に防災用品を置かせてもらってた。消防署では消火訓練などでもお世話になりました。

鷺嶺 待機寮がなくなったとき、自治会の備品を整理するのが大変だった。テントの処分はしろうがなかったですね。ヘルメットは役員の方で引き取

前沢消防署待機寮に於ける
詩吟教室



手前が第2待機寮、奥が自治会使用の第1待機寮（提供：東久留米消防署）

って預かっています。四丁目自治会って名前が書いてある。保存水は最初の2年間で購入した分は東日本大震災のときに支援物資として送りました。各役員に保管してもらっていた6本入りの20ケースを急遽集めて、市役所に運び込みました。

＜くめも＞ 「消防署職員待機寮」

消防署の裏にあった木造二階建ての建物。自治会はのぞみの家移転後、くぬぎ児童館や大道幼稚園を集会所として利用させてもらっていたが、昭和59年から平成22年3月までこの待機寮を役員会などで使用。第2待機寮2階にはテントやヘルメットなど自治会の防災関係備品を保管していた。

自治会は昭和61年、エアコンを寄贈。また、前沢ときわ会は、役員会の他、詩吟教室、盆栽教室、囲碁、手芸等でも活発に利用。合わせて敷地内の除草、花植えなど環境美化のボランティアをおこなった。商店会や近隣の自治会も利用、貴重な地域コミュニティセンターの役割を果たしていた。

■ 環境守る運動 ■

司会 自治会として一斉に側溝の清掃などやりましたね。

津久井 参加しましたよ。雑木林の清掃も。

辻 遊歩道の雑草取りもやった。今は腰が痛くなってとても・・・。

司会 マンション建設のときの申し入れや、違法建築の問題など自治会として取り組んできていますね。そういう先輩たちの長い下地があって今の環境が守られているとも言えますが。

辻 私が会長のときの違法建築問題。建築指導事務所は「指導します」だけで何もできなかった。ガソリンスタンドと朝日電器さんができるときは、外壁をきれいにしてもらって、コープ野村さん側の出口は緊急の場合しか使わないように覚書を交わしました。



3団体合同の遊歩道清掃

＜くめも＞ 住宅環境維持の取り組み

区画整理され、新しいまちづくりが始まった1970年頃の前沢四丁目の住民にとって、良好な住環境を守る取り組みは自治会結成の原点となった。自治会結成直後に「マンション・アパートの建設制限」「工場、倉庫、風俗営業建物等の建築禁止」等4項目を町長に申し入れている。自治会はその後も日照権、騒音、建築基準法違反問題などで何度も取り組んできた。

司会 志久道マンションは4階建ですが・・・。

木上 規制（第1種低層住居専用地域）がされる前に建ったんです。同じ地主さんから私たちのところも私有地を分譲してもらいました。あのマンションは新日鉄の社宅でした。そこの奥さん方や子供たちもたくさんいて敷地内には砂場やブランコもありましたよ。新日鉄が撤退して、今住んでいるのは2軒だけ。

＜めも＞ 「用途地域の指定問題」

建物の種類や高さなどは指定された「用途地域」により規制されている。現在、小金井街道沿いは第2種住居地域、滝山中央通り・新所沢街道沿いは第2種中高層住居専用地域、その他の大部分は第1種低層住居専用地域となっている。第1種低層住居専用地域は良好な住環境を守るために最も厳しい規制がかけられ、住居兼用でない事業所や店舗は建てることができない。

昭和47年、市は当地区全域に対し第2種住居専用地域（現在の第1種・第2種中高層住居専用地域）を提案、自治会は一丸となって繰り返し反対運動を展開し、現在の用途地域の指定を獲得した。

■ これからもたくさんの思い出を ■

司会 最後に、45年間振り返ってみてどうでしょう。

木上 都心が近いというのが一番の魅力。花小金井にも東久留米駅にもバスで10分。商店も昔に比べるとずいぶんできました。杖ついてでも行ける。滝山まで行くのは年をとるとたいへんですからね。

井上 シンメイさんにも頑張ってもらってほしいですね。100円ローソンがなくなって残念です。

山本 マンションや家が建って新しい人が増えていきますね。この企画で45年の歴史を知っていただき、若い人に新しい歴史を作り続けてもらいたいなと思います。

鷺嶺 やっぱり若い人たちにどんどん自治会に入ってもらって、その人たちの知恵を借りて楽しくやっていかないと。

司会 若い人たちもここをふるさととして、たくさんの思い出を作ってもらいたいですね。（了）

＜おことわり＞ 掲載できなかった発言も多くあります。わかりやすくするために発言の順序も一部入れ替えています。ご容赦下さい。

＜文責＞ 広瀬＞

※50周年記念誌に再掲するにあたり、メモ欄や写真を補充しました。